

環境・エネルギー

令和3年度
大阪府SDGsビジネス創出支援事業
SDGsビジネスマップ

オフィス用品からSDGsを広げる脱プラ クリアペーパーファイルの開発



企業名	都インキ株式会社		
所在地	大阪市鶴見区	資本金	30百万円
設立	1965年9月	従業員数	45人
企業URL	https://www.miyakoink.co.jp		
事業内容	印刷用インキ及び印刷用資材の製造・販売・輸出、印刷周辺機器の販売		

SDGsビジネスを始めたきっかけ

1948年にインク製造業として大阪で創業して以来、小ロットカスタマイズインクの中堅メーカーとしてモノづくりに携わっている。環境に配慮した製品をご提供することは企業の責務であると考え、当社の理念を社会貢献に生かすために、持続可能な製品開発に注力している。SDGsは大企業だけでなく、中小企業こそ積極的に取り組むべきと考え、当社がその先頭に立ちたいと思っている。

SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 同社にて開発した「用紙に含浸させると透明度が出るインク」を紙に含浸させ、透明度・価格において、PPクリアファイルの代替となるような紙ファイルを製造・販売。
→プラスチックのPPクリアファイルの代替となる環境負荷の軽減に貢献
- 「用紙に含浸させると透明度が出るインク」は同社の独自開発技術である。
- クリアペーパーファイル及びインクと用紙透明化装置をセットで販売する。

SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 日常的に多くの人々が使用しているクリアファイルを紙製にすることで、脱プラ意識をより広域に啓蒙。
- 当該製品とは別に抗菌、防カビ、抗ウイルス機能を付加するインクも開発しており、その技術を「用紙に含浸させると透明度が出るインク」にも適用し、社会に対して安全と安心を付加することができる。

OSAKA SDGsマッチングの成果や今後の方向性について

- ・いくつか見て頂いた方からのお声掛けを頂いておりまして継続進展中です。
- ・今回の実績も含めて多方面に展開中です。
 - 1) E x p o 2025大阪関西万博の協創パートナーと協賛パートナーにエントリー中。
 - 2) 大阪産業創造館のビジネスマッチングに参加・展開中。
 - 3) その他も展開中。

環境の配慮した消防設備業の推進



企業名	アーグリード株式会社		
所在地	大阪府大阪市大正区	資本金	3950万
設立	平成16年1月	従業員数	25人
企業URL	http://www.izubo-zu.co.jp/index.php		
事業内容	消防設備用各種報告書のソフトウェア開発、販売、消防設備点検業務 他		

SDGsビジネスを始めたきっかけ

平成23年から環境に配慮した消防設備点検が出来ないか検討した中、消防設備の自動火災報知機等で煙感知器の作動試験の試験器のスプレーが代替フロンであるHFC-134aだと知り、製造企業にその使用を減らすべき出来ないかと問いかけるも代替がないと言われたため、他の方法を模索し、ノンフロンの加煙試験器を開発する事を始めたのがきっかけ。

SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

①新型加熱試験器の開発・販売

- 同社では、加熱試験でグリーン購入法に採択を目指して、消防設備点検に用いる**新型の加熱試験器の開発販売**を目指している。
- 従来の試験器は触媒にベンジン（白ガソリン）を用いるため、CO2を排出するとともに、火災事故の危険性があった。一方、同社の**新型試験器「楽熱」（仮名）**はベンジン不使用により、環境に配慮した安全な製品である。

②消防への電子届出を促進する届出書作成ソフトの開発・販売

- 届出のデジタル化を進めることで、消防設備業界の慢性的人材不足の解決と業務改善を図る。

SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 点検作業で使用する試験器の開発や届出作業におけるデジタル化を推進することで、大幅な温室ガスの削減につながる可能性がある。
- 消防設備業界の業務改善が図られる。

OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今回のマッチングでは成果が上がらなかったけれど、事業は継続的に進展しており、今後に期待したい。

光触媒の環境浄化機能によりサステナブルな社会の実現を目指す。



企業名	株式会社JPコーポレーション		
所在地	大阪市西区	資本金	3百万円
設立	H22年8月4日		
企業URL	https://jp-corpo.net		
事業内容	光触媒関連材のコンサルティング・販売・施工 他		

SDGsビジネスを始めたきっかけ

東日本大震災以降、環境に対する社会の意識が高まった事をきっかけに【光触媒による環境浄化技術の普及】で社会貢献したいと強く意識するようになった。弊社実績である「国土交通省のNOx対策」、「大阪府の遮音壁清掃に必要な水等資源の削減対策」などの事業に携わったこともきっかけとなっている。

SDGsビジネスの概要とポイント（特徴、ビジネスモデル含む）

- 光触媒は光や水という自然エネルギーを使って、持続的に効果を発揮する機能性材料であり、光触媒製品を使用する＝少ない資源で「空気浄化」・「悪臭処理」・「防曇」・「抗菌・抗ウイルス」等多くの効果が期待できる。昨今の環境重視の観点からも成長性の高いビジネスと言える。
- 光触媒材料にはいくつもの種類があり、適切な材料・手段を用いることで、大きな効果が期待できる。多くのノウハウを持つ弊社がお手伝いさせていただくことで、企業の収益につながると同時に、環境へも寄与することが出来る。

光触媒の効果

- ・空気浄化
- ・汚れ防止
- ・NOx除去
- ・抗菌・抗ウイルス
- ・（人工光合成）他

SDGsビジネスが社会や顧客に与える影響・効果

- 社会に対しては、①抗菌・抗ウイルス効果により、安心・安全な環境を提供出来る。②セルフクリーニング効果により、建物・各種構造物の美観維持が可能となり清掃に資する水・洗剤の削減となる。③ NOx除去効果により、道路沿道の大気浄化が可能になる。
- 顧客に対しては、光触媒が環境浄化を目的とした材料の為、採用・推進する事で「環境に取り組む企業」として対外的にPRが出来る。

OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

●今後の方向性について

1. これからも様々な業種の企業様と光触媒事業を推進する事で、更に知見を増やし、光触媒材料の専門商社としての地位を確立していく。
2. 光触媒工業会の委員として、業界の発展に寄与していく。
3. 光触媒事業にイノベーションを起こすべく、様々な事にチャレンジしていく。
4. 他業種（他業界）の企業様と協業する事で事業の視野を広げる。